

■米国：テキサス州の電気事業者が民事再生手続き開始へ

テキサス州の電気事業者エナジー・フューチャー・ホールディングズ（EFH 社、本社：ダラス、総資産額 360 億ドル）は 2014 年 4 月 28 日、連邦破産裁判所に対し、民事再生手続き（Chapter 11）の開始を申請した。負債総額は約 409 億ドルで、1980 年以降、産業全体では 8 番目の規模、電気事業関連では 2001 年のエンロン社（負債額 655 億ドル）に次ぐ規模の破たんとなる。同社は、電力市場規制緩和を受けた発送電分離実施後も、発電、送配電、小売事業者を傘下に有する州内最大の電気事業持株会社として運営を続けてきたが、近年のエネルギー価格低迷に伴い、発電事業に由来する負債が経営を圧迫し、破たんは時間の問題とされてきた。今後、今回の手続きの対象から除外されている送配電部門会社（Oncor 社）の扱いを含む、事業運営の方向性について債権者との協議が続けられる予定である。